

コロンビア（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在コロンビア日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	7	13	412	9	62	1,267	16	75	1,679

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

日系人子弟への日本語教育の必要性から、1968年、カリ市郊外の農場の片隅に「ひかり園」が設置され、日本語を教え始めたのがコロンビアにおける日本語教育の始まりと言われている。以後、日系人協会がこれを引き継ぎ、「コロンビア日系人協会附属日本語学校」、現在の「コロンビア日系人協会附属日本語学校日本語センター『光園』」と名称変更し、日系人のみならずコロンビア人学習者も対象に日本語教育が行われている。同機関はコロンビアの日本語教育機関の中心的な存在として日本語弁論大会や日本語教師研修会を積極的に企画し、日本語教育の普及に尽力している。2017年9月には、カリ市南部の日本語学習希望者数の増加により、『光園』南部校が開校された。

高等教育機関では、1987年に初めて国立コロンビア大学でJICA（国際協力機構）海外協力隊派遣プログラムによる日本語講座が開講された（1996年より卒業履修科目として認定）。

全体的に各日本語教育機関は教師、教材及び予算の不足などの問題を抱えている。

教師研修としては、年1回日本語教師合同研究会（2017年は10月に日系人協会附属日本語学校にて実施）が実施され、教師間のネットワーク作り及び教師の質の向上に貢献している。この研究会には、JF サンパウロ日本文化センターより日本語上級専門家が派遣され指導を行った。また2004年、2010年及び2015年に国際交流基金日本語巡回セミナーが開催された。

2015年には『コロンビア全国日本語教師会・日本語研究会』が結成され、日本語教師が一同に集まり、情報を交換、日本語教育についての勉強を重ね、日本語教育の質の向上に努めている。

2009年より、ボゴタ市のロスアンデス大学において日本語能力試験が実施、2014年3月から同大学で全国日本語弁論大会も開催され、日本語学習者の大きな励みとなっている。

2022年12月より、カリ市コロンビア日系人協会附属日本語学校日本語センター『光園』において日本国能力試験も実施、20年10月から同センターでカリ市スピーチコンテストも開催され、優勝者が全国日本語弁論に参加できるという条件になっており、その地域の日本語学習者の日本語能力を磨くための良い機会ともなっている。

背景

20世紀初頭からの日系人移民が存在するが、コロンビアでの外国語教育としては英語が重視され、日本語教育については言語教育政策に取り入れられていない。

特徴

コロンビア国民は親日的で、日本に対しては良好なイメージを持っている。日本の高度な科学技術やアニメ・マンガ、武道、文学をはじめとする日本文化に対する関心が学習動機となっている傾向が強い。近年では、日本政府の国費留学の受験生に日本語試験を課しているため受験を目的に学習する者が増加してきている。日本語学習者の大半は初級・中級レベルであり、上級レベルまで学習を継続する者は少ない。日本の奨学制度や大学間のつながりなどでの交換留学をする大学の増加により、日本語学習への関心へとつながってきている。中国語、韓国語に対する関心も高まってきており、日本独自の魅力の発信と日本文化、日本事情などの知識の取得などをいかにやっていくかが今後の課題となっている。

最新動向

2021年12月、メデジン市の日本語教育における中核機関であるエアフィット大学の日本語コースが閉講した。2022年2月、メデジン市で日本文化センター「春のひなた」が開所し、日本語教育及び日本文化講座が提供されている。2022年12月、カリ市「光園」で日本語能力試験が開始し、コロンビアではボゴタ市とカリ市の年2回実施となった。2025年2月、ボゴタ市で「日本語文化舎」が開所し、オンラインと対面日本語教育及び日本文化講座が提供されている。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

卒業履修単位科目として認定され、正規科目として日本語教育が行われている高等教育機関は次の 13 機関。
13 機関とも教養課程の選択科目となっており、日本語・日本語教育専攻／副専攻はない。

1. ロスアンデス大学（1989 年開講、ボゴタ市）
 - 日本語コースは社会科学部言語文化学科に所属。1998 年より履修単位科目。経済学部、理学部、人文学部の学生が多い。
 - 一般公開講座も実施している。
 - 2018 年より「日本センター」にて一般公開講座を開設
2. コロンビア国立大学ボゴタ校（1987 年開講、2010 年閉講、2012 年再開、ボゴタ市）
3. バジェ大学（1994 年開講、カリ市）
 - 日本語教育は人文学部言語学科に所属。1997 年より履修単位科目。理学部、人文学部の学生が多い。
 - 一般公開講座も実施している。
4. エクステルナド大学（1998 年開講、ボゴタ市）
 - 日本語教育は国際関係・国際金融学部に所属。同学部、人文学部の学生が多い。
5. コロンビア国立大学メデジン校（2002 年開講、2007 年一時閉講、2011 年再開、メデジン市）
6. ロサリオ大学（2004 年開講、ボゴタ市）
7. ハベリアナ大学ボゴタ校（2005 年再開、ボゴタ市）
 - 一般公開講座も実施している。
8. ハベリアナ大学カリ校（2012 年再開、カリ市）
9. クン技術短期大学ボゴタ校（言語センター）（1993 年開講、ボゴタ市）
10. アンティオキア大学（2000 年開講、2006 年休講、2012 年再開、メデジン市）
11. カルダス大学（2012 年開講、マニサレス市）
12. エル・ボスケ大学（2017 年開講、ボゴタ市）
13. アトランティコ大学（バランキージャ市）

* 現在休講中の高等教育機関は以下の 16 機関。

1. サンタンデル大学（1990 年開講、1999 年より休講、ブカラマンガ市）
2. エアフィット大学（1992 年開講、2021 年より休講、メデジン市）
3. ジャノ大学（1998 年開講、2000 年より休講、ビジャビセンシオ市）
4. イバゲ大学（1999 年開講、2000 年より休講、イバゲ市）
5. パンプローナ大学（1998 年開講、2004 年より休講、パンプローナ市）
6. ラサル大学（2004 年開講、2006 年より休講、ボゴタ市）
7. サンティアゴ・デ・カリ大学（1995 年開講、2006 年より休講、カリ市）
8. イセシ大学（1988 年開講、2006 年より休講、カリ市）
9. 米州自治大学基金（2005 年開講、2007 年より休講、メデジン市）
10. ポリテクニコ・グランコロンビアーノ大学（2005 年開講、2008 年より休講、ボゴタ市）

11. ノルテ大学言語センター（2011年開講、2013年閉講、バランキージャ市）
12. サン・ブエナベントゥーラ大学（2011年開講、2012年閉講、カリ市）
13. クン技術短期大学ボゴタ校（言語センター）（2012年開講、トリマ市）
14. バジェ大学 パルミラ分校（2016年開講、パルミラ市）
15. セス大学（2016年開講、メデジン市）
16. ボリバリアナ大学（2016年開講、2017年より休講、メデジン市）

学校教育以外

日系人子弟対象

日系人子弟対象の私塾は、コロンビア日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」（1968年開講、カリ市）の1機関。4歳児から大人まで、日系人のみならずコロンビア人も対象に日本語教育が行われている。同機関はコロンビアの日本語教育機関の中心的な存在として日本語弁論大会や日本語教師研修会を積極的に企画し、日本語教育の普及に尽力している。2017年9月に南部校を開講。

民間語学学校

その他民間の語学学校は6機関。

1. 天理クラブ「日本語教室」（1992年開講、カリ市）
2. NPO法人コロンビアと日本の絆（1994年開講、ボゴタ市）
3. 東洋言語学院（2005年キャンピン校開講、2009年セドリト校開講、2015年北校開講、ボゴタ市）
4. アジア言語学院（2007年開講、2016年セドリト校開講、ボゴタ市）
5. 日韓クラブ（2012年開講、ボゴタ市）
6. アトランティコ・コロンビア日系人協会文化部門「会和学校」（2015年開講、バランキージャ市）
- 7.

一般公開講座等

1. ハベリアナ大学ボゴタ校（2005年再開、ボゴタ市）
2. アンティオキア大学（1998年開講、メデジン市）
3. バジェ大学（2016年開講、カリ市）
4. ロスアンデス大学（2013年開講、ボゴタ市）

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

2-5-6制。

小学校前教育2年間（日本の幼稚園にあたるもの、早ければ3歳または4歳から入学可能）、小学校が5年間（7歳から入ると11歳まで）、中等教育6年間（12～17歳）の各段階に分けられる。このうち義務教育は、2014年より、小学校1年生～5年生の5年間と6年生～11年生（中等教育）の6年間の合計11年間である。成績によっては、小学校前教育から留年する場合があります。逆に、優秀な生徒には飛び級制度も認められている。

中等教育終了後は、高等教育（大学）（専門により5～7年間）、技術短期大学（2年間）、職業専門学校（2～3

年間)などに進学する。

教育行政

初等、中等、高等教育機関は教育省の管轄下にある。

言語事情

公用語はスペイン語。

外国語教育

初等教育及び中等教育において、第一外国語として英語の履修が必修となっており、小学校前教育より外国語教育を開始している。

その他の国家政策では、公立学校における外国語必修カリキュラムの改正は行われていない。ただし、首都ボゴタの一部地区の公立学校では、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語を第二外国語として教える政策が導入されている。現在、これらの政策は全市的あるいは全国的に実施されるかどうか評価されていない。

外国語の中での日本語の人気

日本の科学技術、文化、アニメ、マンガへの関心の高まりに伴い、日本語学習者数は増加している。なお、高等教育機関では、2004年頃より中国語、韓国語講座開講が増加し、中国語、韓国語学習に関心を持つ者が急増したが、2014年より中国語、韓国語学習者は減少し、日本語学習者が増加傾向にある。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『まるごと 日本のことばと文化』国際交流基金（三修社）

*一部の機関では独自に日本語教科書を作成し、使用している。

学校教育以外

『みんなの日本語』（前出）

『まるごと』（前出）

『とびら』（前出）

*一部の機関では独自に日本語教科書を作成し、使用している。

IT・視聴覚機材

私立大学等においてコンピュータを使用した学習の導入が開始されているが、民間の日本語教育機関においては、コンピュータで学習するための環境が充分ではないため、ほとんど実施されていない。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

一般的に大学では日本語教師養成課程修了の有無に関わらず、学士号のある者を最低条件としている。ロスアンデス大学では修士課程修了を条件としている。最近では現地人日本語教師志望の者に研修を受けさせ、その後日本語教師として採用しているケースが多い。

学校教育以外

各機関によって異なるが、全体的に特に日本語教師としての資格要件は無いようである。最低限必要とされる条件としては、日本語が話せる、日本語についての研修を受けたなどである。

日本語教師養成機関（プログラム）

現地においては日本語教師養成機関やプログラムなどは無い。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本人であれば日本語教師として採用される場合もある。但し、就労ビザが必要である。

教師研修

コロンビア国内においては、コロンビア日系人協会附属「光園」のイニシアティブにより、JICA の助成事業である「日本語教師合同研修会」を年 1 回開催し、JF サンパウロ日本文化センターより日本語上級専門家が派遣され、日本語教授法や、各機関における日本語教育の問題点など、日本語教育に関する意見交換を行ってきた。なお、2023 年の JF リマ日本文化センター開設後は、同センターの専門家が引き続き協力している。訪日研修については、JF の「日本語教師研修」及び JICA 事業の「日本語教師研修コース」を積極的に活用し、日本語教育技術の向上を目指している。

現職教師研修プログラム（一覧）

特になし

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」が JF のさくらネットワークに認定され、カリ市で開催する日本語教師合同研修会にて他の地域の教師に各国の日本語教育現状など情報を共有している。

2015 年にボゴタにてコロンビア全国日本語教師会・日本語研究会が発足し、日本語教育関係者のネットワークが構築されている。

最新動向

2021 年にロスアンデス大学が新たにさくらネットワークに認定された。

[教師会・学会一覧へ](#)

7. 日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8. シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9. 評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

10. 日本語教育略史

1968年	ひかり園（現在の日系人協会附属日本語学校日本語センター「光園」）で日本語教育開始
1976年	日文研協にて日本語教育開始
1987年	コロンビア国立大学で日本語講座開講
1988年	イセシ大学（～2006年）
1989年	ロス・アンデス大学で日本語教育開始
1990年	サンタンデール大学にて日本語教育実施（～1999年）
1992年	エアフィット大学にて一般向け日本語教育開始（～2021年） 天理日本語教室にて日本語教育開始
1993年	クン高等専門学校（現在のクン技術短期大学）にて日本語教育開始
1994年	バジェ大学にて日本語教育開始 NPO 法人コロンビア日西学院（現在のフンダシオン・コロンボ・ハポネサ）にて日本語教育開始 ハベリアナ大学カリ校にて日本語教育開始（～2010年、2011再開）
1995年	サンティアゴ・デ・カリ大学（～2006年）
1998年	エクステルナド大学にて日本語教育開始 アンティオキア大学にて一般向け日本語講座も開講 ボリバリアナ大学にて一般向け日本語講座開講（～2013年） ジャノ大学にて日本語講座実施（～2000年） パンプローナ大学にて日本語講座実施（～2004年）
1999年	イバゲ大学（～2000年）
2002年	コロンビア国立大学メデジン校にて日本語教育開始（～2007年、2011再開、メデジン市）
2004年	ロサリオ大学にて日本語教育開始

	ラサール大学にて日本語教育実施（～2006年） 東洋言語学院にて日本語教育開始
2005年	ポリテクニコ・グランコロンビアーノ大学にて日本語教育開始（～2008年） ハベリアナ大学ボゴタ校にて日本語教育再開 オクシデンテ自治大学にて日本語教育実施（～2007年） 米州自治大学基金にて日本語教育実施（～2007年）
2006年	日本文化アカデミーにて日本語教育開始 日本語文化センター学院にて日本語教育実施（～2012年）
2007年	アンゴラバイリンガルセンターにて日本語教育実施（～2012年） アジア言語学院にて日本語教育開始
2009年	12月 日本語能力試験の実施（ボゴタ）を開始
2010年	12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2011年	サン・ブエナベントゥーラ大学にて日本語教育開始（～2012年） ノルテ大学にて日本語教育実施（～2013年） 12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2012年	日韓クラブにて日本語教育開始 12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ） カルダス大学にて日本語教育開始（マニサレス市） コロンビア国家警察言語センターにて日本語教育開始（ボゴタ）
2013年	12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2014年	3月 コロンビア全国日本語弁論大会を開始（ボゴタ） 12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2015年	コロンビア全国日本語教師会・日本語研究会が発足 12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2016年	ボリバリアナ大学にて日本語教育を再開（メデジン） セス大学にて日本語教育を開始（メデジン） バジェ大学パルミラ分校にて日本語教育を開始（パルミラ） 10月 アジア言語学院セドリト校が開講（ボゴタ） 12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2017年	9月 「光園日本語学校南部校」を開講（カリ） 2月 ボスケ大学にて日本語教育を開始（ボゴタ）

2018年	12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
	ロスアンデス大学日本センターにて日本語クラス開校（ボゴタ）
2020年	12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
	12月実施日本語能力試験は新型コロナ感染拡大状況の影響により中止（ボゴタ）
2021年	日本語能力試験「7月実施」を「12月実施」に変更（ボゴタ）
	12月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
2022年	2月 メデジン日本文化センター「春のひなた」が開所、日本語教育を開始（メデジン）
	7月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
	12月 日本語能力試験を実施（カリ）
2023年	7月 日本語能力試験を実施（ボゴタ）
	12月 日本語能力試験を実施（カリ）

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
 なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunikatsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）